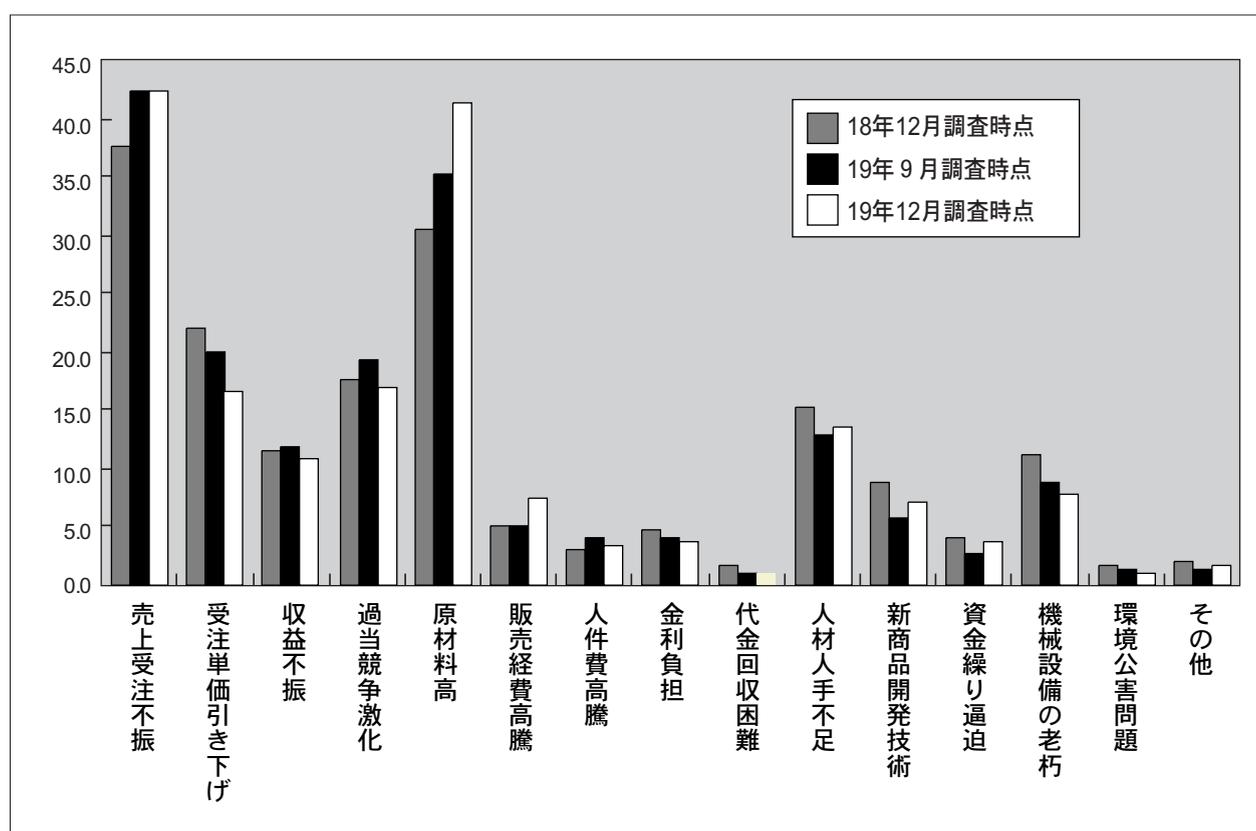


IX. 当面の経営上の問題点

□ (%:複数回答あり)

	18年12月 (前年)	19年9月 (前回)	19年12月 (今回)	19年12月		前回比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	37.5	42.3	42.3	(39.6)	(44.7)	0.0
受注単価引き下げ	21.9	19.9	16.5	(16.6)	(16.3)	-3.4
収益不振	11.4	11.7	10.9	(8.6)	(13.0)	-0.8
過当競争激化	17.5	19.4	17.0	(9.6)	(23.6)	-2.4
原材料高	30.4	35.2	41.3	(53.5)	(30.3)	6.1
販売経費高騰	5.1	5.1	7.3	(4.8)	(9.6)	2.2
人件費高騰	3.2	4.1	3.3	(3.2)	(3.4)	-0.8
金利負担	4.9	4.1	3.8	(3.7)	(3.8)	-0.3
代金回収困難	1.7	1.0	1.0	(0.5)	(1.4)	0.0
人材人手不足	15.1	13.0	13.7	(14.4)	(13.0)	0.7
新商品開発技術	8.8	5.6	7.1	(12.3)	(2.4)	1.5
資金繰り逼迫	4.1	2.6	3.8	(2.1)	(5.3)	1.2
機械設備の老朽	11.2	8.7	7.8	(9.1)	(6.7)	-0.9
環境公害問題	1.7	1.3	1.0	(1.6)	(0.5)	-0.3
その他	1.9	1.5	1.8	(1.1)	(2.4)	0.3



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振42.3%（前期比+0.0ポイント）、②原材料高41.3%（前期比+6.1ポイント）、③過当競争激化17.0%(前期比▲2.4ポイント)の順となっている。
- (2) これを製造業と非製造業に分けてみると製造業では原材料高53.5%、非製造業は売上受注不振44.7%が最も高いポイントとなっている。今回調査では、売上受注不振は前回と同じポイントとなったが、原材料高は増加した結果となっている。また、販売経費増加を問題点とする企業も増加している。